

用語集

※あいうえお順

NO.	用語	説明
1	産業系 (排出汚濁負荷量) さんぎょうけい	工場や事業所、また家畜の排泄物等から水域に排出される汚濁負荷量のことです。浄化施設がある場合には、浄化施設を通して放流される負荷量です。
2	COD 化学的酸素要求量 シオクセン かがくてきききんそようきゅうりょう	水中の有機物を酸化剤により化学的に分解するときに必要な酸素の量を濃度に換算したものです。値が大きいほど汚濁していることとなります。湖沼や海域の有機汚濁の指標として用いられています。
3	生活系 (排出汚濁負荷量) せいかつけい	生活排水等、家庭から水域に排出される汚濁負荷量のことです。浄化槽がある場合には、浄化槽を通して放流される負荷量です。
4	全窒素 (T-N) 全りん (T-P) ぜんちつそ ティーエヌ ぜんりん ティーピー	水中に含まれる窒素(N)化合物、またはりん(P)化合物の総量のことをいいます。どちらも動植物の成長に欠かすことができない栄養素ですが、河川から過剰の窒素・りんを含む水が湖沼等に流れ込むと、富栄養化しやすくなります。
5	内部生産 ないぶせいさん	湖沼等の水域内において、有機物が生産されることを言います。その有機物とは、通常は大半が植物プランクトンであり、光合成により増殖します。この内部生産が増えるとCOD等の有汚濁の指標の値が上昇します。また、河川から流入する汚濁負荷(流入負荷)と対(つい)で使われることが多いです。
6	75%値 ななごごぱいせんじち	全データを小さいほうから並べた時の、(データ数×0.75)番目の値をいいます。例えば12個のデータのうち小さいものから9番目のものです。平均すると1つの異常データに影響を受けるため、それを排除するための統計値になります。BODやCODの水質測定結果の評価方法の一つで、水質環境基準の適否判定等に利用されています。
7	排出汚濁負荷量 はいしゅつおたたくふかりょう	家庭や工場からの排水に含まれる汚濁物質や、市街地・道路・農地等から雨水の流出水とともに流れ出る汚濁物質の量のことをいいます。
8	富栄養化 ふえいようか	湖沼や内湾などの閉鎖性水域において、流入河川から植物プランクトンの餌となる窒素、りんなどの栄養塩類が運び込まれて豊富に存在するようになり、生物生産(プランクトン増殖等)が盛んになることをいいます。富栄養化すると植物プランクトン等が異常増殖しやすくなり、緑色、褐色、赤褐色等の水の変色や、透明度の低下、悪臭などが生じやすくなります。
9	面源系 (排出汚濁負荷量) めんげんけい	市街地や田畑、山林等を発生源とする汚濁負荷量のことです。
10	面源負荷 めんげんふか	市街地や農地等、汚濁の排出源を特定できない発生源からの汚濁負荷のことです。汚濁の排出源が面的に広がっているのが特徴です。